

大会名 Competition	第70回秋田県高校総体 男子決勝
NO, M-4	Year Month Day Time 2024 年 6 月 4 日 14 : 00
場 所 Place	CNAアリーナ★あきた



秋田県高等学校体育連盟
バスケットボール専門部

チームA		チームB										
秋田工		秋田南										
50 ●	<table border="1"> <tr><td>3 1st</td><td>8</td></tr> <tr><td>22 2nd</td><td>10</td></tr> <tr><td>12 3rd</td><td>12</td></tr> <tr><td>13 4th</td><td>23</td></tr> <tr><td>OT</td><td></td></tr> </table>	3 1st	8	22 2nd	10	12 3rd	12	13 4th	23	OT		53 ○
3 1st	8											
22 2nd	10											
12 3rd	12											
13 4th	23											
OT												

Crew Chief
中道 凌平
Umpire 1
田村 高光
Umpire 2
小玉 大地
テーブルオフィシャル: Table officials
秋田商業(女子)

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	×	大角 洸 碧		19	3	3	4	0	4	×	高橋 樹 CAP		23	3	7	0	1
5	×	三戸 唯 翔		6	0	3	0	3	5	×	早川 純 平		0	0	0	0	0
6	×	田子 琉 斗		8	0	3	2	3	6	／	石川 晃 輝		0	0	0	0	0
7	／	桜庭 太 一		2	0	1	0	0	7	×	相原 可 依		4	0	1	2	1
8	×	田口 陸 人		2	0	1	0	4	8	×	戸田 竣 也		14	2	3	2	3
9	／	安保 汰 一		0	0	0	0	0	9	×	館岡 優 斗		5	1	1	0	1
10	×	山野 圭 介		13	1	5	0	3	10		佐藤 琉 成		-	-	-	-	-
11		山下 健 翔		-	-	-	-	-	11		森川 敏 生		-	-	-	-	-
12	／	太田 蓮 依		0	0	0	0	1	12		高桑 煌 介		-	-	-	-	-
13		鎌田 琉 輝		-	-	-	-	-	13		舟山 大 介		-	-	-	-	-
14		米沢 日 快		-	-	-	-	-	14		加藤 巧 哉		-	-	-	-	-
15		菅原 州 駆		-	-	-	-	-	15		大野 朔太郎		-	-	-	-	-
16		佐藤 大 騎		-	-	-	-	-	16	／	奈良 遙 飛		7	0	3	1	1
17		神坂 晴		-	-	-	-	-	17		佐藤 快 晟		-	-	-	-	-
18		生駒 優 太		-	-	-	-	-	18		亀屋 柊 太		-	-	-	-	-
19		武蔵 大 知		-	-	-	-	-	19		伊藤 香 瑛		-	-	-	-	-
20		伊藤 柊 生		-	-	-	-	-	20		船木 海 杜		-	-	-	-	-
21		船木 大 空		-	-	-	-	-	21		高木 瑞 騎		-	-	-	-	-
コーチ		小松 和 幸							コーチ		齊藤 智 也						
Ａコーチ		遠藤 元							Ａコーチ		高村 優 衣						
合 計				50	4	16	6	14	合 計				53	6	15	5	7

※×:スター 〃:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P* イントシュート 2P:2P* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

男子決勝は1月の県新人大会を制した秋田工と、初優勝のかかる秋田南との対戦となった。
 第1Qはお互いにマンツーマンディフェンスでスタート。秋田南#4高橋がドライブからのレイアップで先制する。その後も秋田南#4高橋のミドル、#8戸田のパスカットからの速攻でスコアを6-0にしたところで秋田工が1回目のタイムアウトを請求する。お互いシュートが決まらない我慢の時間帯が続く中、秋田工#6田子のリバウンドからのゴール下で反撃を試みるが、秋田南の代わって入った#16奈良がリバウンドからバスケットカウントを獲得し、秋田南が8-3でリードし、このQを終える。
 第2Qは秋田工フリースロー、#5三戸から#10山野の合わせで反撃する。1ゴール差に迫られたところで秋田南が1回目のタイムアウト。その後、秋田工#4大角の3Pで逆転し、差が5点になったところでたまたま秋田南が2回目のタイムアウトを請求する。立て直しを図る秋田南#8戸田がチームとしては初の3Pを決める。しかし、秋田工#10山野がコーナーから3Pを沈め、前半を18-25とし、秋田工がリードして前半を終える。
 第3Qは秋田南#8戸田のフリースローから始まる。秋田南#4高橋が3Pを決め、点差を縮めようとするが、秋田工#4大角が3Pを2本連続で決め、流れを渡さない。その後、秋田工#6田子がリバウンドからゴール下をねじこむが、秋田南も#4高橋のドライブ、#16奈良のリバウンドからの力強いゴール下で食らいつき、このQは両校譲らず、スコアは30-37で点差は変わらない。
 第4Qは開始3分で秋田南#7相原のミドル、#4高橋、#9館岡の3Pでついにスコアを40-40の同点にしたところで秋田工がタイムアウトを請求する。その後も秋田工#10山野がオフェンスリバウンドからのバスケットカウント、#5三戸のドライブで流れを渡さないように踏ん張るが、秋田南#4高橋が3Pを沈め、逆転に成功する。さらに#8戸田も3Pを決めたところでたまたま秋田工がタイムアウトを請求し、反撃を試みるが、秋田南#4高橋がドライブで差を広げる。それでも秋田工#6田子がリバウンドからのゴール下で食らいつき、1ゴール差にするが、秋田南の#16奈良がフリースローを決め、3点差とする。秋田工は最後のタイムアウトをとり、攻撃を#5三戸の3Pに託すが、リングから弾かれてスコアは53-50で秋田南の勝利で試合終了。手に汗握る接戦を制した秋田南が悲願の初優勝を飾り、福岡インターハイの出場を決めた。